

# 玉原高原の地衣類

利根沼田自然を愛する会

## 1 はじめに

ブナ林に入れば木の幹や岩肌、湿原では木道や杭の上など、至る所で目につく地衣類。玉原でも極普通に生育しているのに見過ごしている植物だったが、地衣類専門の先生による会員勉強会の機会を得られ、玉原高原に生育する地衣類の観察・調査を始めた。



● ブナの樹皮（地衣類のせめぎ合い）

## 2 調査地・調査方法

調査はブナ平周辺・玉原湿原周辺・玉原キャンプ場周辺の3カ所を2015年8月～2016年11月にかけて計4回実施した。

1本のブナに何種類もの地衣類・蘚苔類が付着しているので、ほとんど移動することなく観察できる。しかし、地衣類図鑑の写真（乾燥標本）や記述と、観察地の生きている地衣類を比較するのは一般人には難しく、特に地衣体が濡れている場合は異なる色合いで更に難しい。最終的には、専門家の先生に一つ一つ特徴を解説していただき、写真と標本を一致させた。

## 3 結果

今回の調査で、44種の地衣類が確認できた。

- ・葉状地衣27種（イワノリ科・アオキノリ他3種、ムカデゴケ科・アカハラムカデゴケ他7種、ウメノキゴケ科・キウメノキゴケ他7種、ウラムゴケ科・ウラムゴケ、カブトゴケ科・ナメラカブトゴケ他4種、ロウソクゴケ科・ロウソクゴケ）
- ・固着地衣10種（トリハダゴケ科・オオカノコゴケ他1種、コゲボシゴケ科・オオコゲボシゴケ、ホウキタケ科・キリタケ、サビイボゴケ科・オオサビイボゴケ、ダイダイゴケ科・ダイダイゴケ、モジゴケ科・モジゴケ、ニセサネゴケ科・ブナノモツレサネゴケ、チャシブゴケ科・モエギイボゴケ、ムカデゴケ科・ビスケットゴケ）
- ・樹枝状地衣7種（カラタチゴケ科・カラタチゴケ、ハナゴケ科ヤリノホゴケ他2種、キゴケ科・ハイイロキゴケ他1種、サルオガセ科・ヨコワサルオガセ）

地衣類は試薬を使用し顕微鏡観察での成分分析・判定が必要なものが多く現場で識別できないものが幾つもあった。（特に固着地衣）

調査地別では、ブナ林内の地衣類は予想に反し少なく、林縁のキャンプ場周辺が多かった。キャンプ場周辺は、霧が出やすく林縁で明るいため、地衣類の生育環境を左右する適度な湿度と光が整った場所のようだ。

一般的に日本海型気候の多雪地ブナ林では、地衣類は少ない（谷川岳山麓のブナ林

では地衣類の付着が少なく樹皮が剥き出し)。玉原高原は太平洋型気候との境目に位置し、多雪地ではあるが地衣類の種・量ともに多い。

#### 4 今後の活動

定期的に地衣類専門の先生にご指導を仰ぎ、玉原高原のブナ林の代表的な地衣類のリストを作成したい。



● センシゴケ (葉状地衣)



● ナメラカラクサゴケ  
(葉状地衣)



● フクレニクイボゴケ  
(固着地衣)



● ヨコワサルオガセ  
(樹枝状地衣)



● カラタチゴケ  
(樹枝状地衣)



● ブナノモツレサネゴケ  
(固着地衣)